



DAISUI REPORT

第88期株主通信

(2022年4月1日～2023年3月31日)



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第88期(2022年4月1日～2023年3月31日)の株主通信をお届けし、当社グループの事業状況等をご報告申し上げます。

代表取締役社長執行役員 **山橋 英一郎**

▶第88期株主通信の発刊にあたり

株主の皆様へのIR活動の一環として、このたび第88期株主通信が完成しましたので、皆様のお手許にお届けいたします。第88期の経営成績に加え、当社グループの環境・社会への取り組み状況等を掲載しております。ご一読いただき、当社グループへの理解を深めていただくと幸いです。

▶当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、Withコロナに向けた政策が進められ、景気は緩やかに回復に向かいました。新型コロナウイルス感染症については、一時的に感染者数が増加する時期はあったものの新たな行動制限は実施されず、政府による旅行支援策、水際対策の緩和や感染症法上の分類変更の決定等もあり、経済・社会活動の正常化に向けた動きが進んでいます。一方、ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原材料価格の高騰、日米の金利差による円安等により、消費者物価の高騰が続きました。また、各国にお

ける金利の引き上げの継続や金融不安など、先行きは不透明な状況にあります。

当水産流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は薄れつつあり、外食を中心に消費は持ち直しました。円安により輸出関係は順調に推移していますが、原材料価格や物流コストの上昇もあり、食品全般の価格上昇が続いています。水産物においても輸入魚を中心に為替の変動、漁獲量の減少、海外での需要の回復により仕入価格は上昇し、引き続き魚価は高値圏となっています。また物価上昇による消費マインドの低下、コロナ禍での生活様式の変化もあり、引き続き販売環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当連結会計年度の経営成績は、増収増益となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、夏場に新型コロナウイルス感染症の影響を一時的に受けましたが、通期ではその影響も軽減され、業績は回復基調となりました。供給面では、サンマ、

サバ、イカといった大衆魚などの漁獲量は依然として低迷しており、養殖魚もブリ、マグロ、タイなど在庫量の減少もあり、生鮮水産物の供給量は減少しました。輸入水産物については、サケ、カニなど一部の魚種で業界全体の在庫過多により価格が下落しましたが、水産物全般の価格は高値傾向で推移しました。販売面では、当社の販売拠点である中央卸売市場では、魚価高により取扱数量は減少したものの、外食需要の回復によりマグロ、貝類、ウニなどの高単価商材が伸び、取扱高は増加しました。また、海外販売が比較的順調に推移したことに加えて、積極的な集荷・販売と粗利率の改善や各種経費の節減に取り組んだことから、売上高・セグメント利益ともに前期の実績を上回りました。

冷蔵倉庫等事業は、増収となりましたが、電気料金の高騰等から売上原価が増加したことにより減益となりました。

▶当連結会計年度の取り組み

当社は、「安全・安心な水産物を安定供給する」という当社の社会的使命を果たすとともにステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、次のような取り組みを進めました。

販売強化については、為替相場が大きく変動するなか在庫の弾力的な活用を行うと共に、主要魚種は組織横断的な仕入れを行う等の対応を図り、売上と利益の確保に取り組んでおります。

サステナビリティへの対応については、企業理念のもと「持続可能な社会への貢献」と「地域に根ざしたCSR活動」を推進しております。詳細につきましては、5ページの「環境・社会への取り組み」に掲載しておりますのでご覧ください。

人的資本については、2022年4月より新人事賃金制度

を導入しました。それぞれの社員が最大限に力を発揮し、組織に貢献し、評価され、成長しながら将来のキャリアプランを描けるようにするのが目的です。この新制度を早期に定着させ、成長につなげるため、各階層にあった教育研修を実施しております。

▶大水グループ「中期経営計画（2023年度-2025年度）」について

水産物卸売業を取り巻く様々な環境の変化に対応し、生産者と生活者の求めるものを最適につなぐ水産物を中心とした卸売企業として持続的な活動をすべく、当社の2030年度のあるべき姿を描きました。その姿に到達するために、まず2023年度から2025年度に実行すべきテーマを定め、3カ年を対象とした中期経営計画を策定しております。詳細につきましては、4ページの「中期経営計画について」に掲載しておりますのでご覧ください。

▶配当について

配当政策に関する基本方針は、業績が消費動向に大きく影響される特質を踏まえ、将来に向けた安定的な収益基盤づくりのために内部留保の充実を図り、株主の皆様へ安定した配当を継続的に行うこととしております。

剰余金の配当は期末配当の年1回を基本的な方針としており、上記政策に基づき取締役会で配当を決議しております。

なお、当事業年度の期末配当については1株当たり1円増配し5円とすることを決議いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

連結財務諸表(要約)

▶ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 前期末 (2022年3月31日現在) | 当期末 (2023年3月31日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 15,715 | 17,115 |
| 固定資産 | 5,355 | 5,373 |
| 有形固定資産 | 2,675 | 2,670 |
| 無形固定資産 | 89 | 69 |
| 投資その他の資産 | 2,591 | 2,633 |
| 資産合計 | 21,070 | 22,488 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 9,747 | 10,503 |
| 固定負債 | 3,769 | 3,751 |
| 負債合計 | 13,516 | 14,255 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 6,379 | 7,050 |
| その他の包括利益累計額 | 1,174 | 1,182 |
| 純資産合計 | 7,554 | 8,232 |
| 負債・純資産合計 | 21,070 | 22,488 |

▶ 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで) | 当期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで) |
|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 88,788 | 98,458 |
| 売上原価 | 82,854 | 91,692 |
| 売上総利益 | 5,933 | 6,766 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,123 | 6,333 |
| 営業利益 | △190 | 432 |
| 営業外収益 | 279 | 359 |
| 営業外費用 | 208 | 193 |
| 経常利益 | △119 | 598 |
| 特別利益 | 180 | 1 |
| 特別損失 | 20 | 11 |
| 税金等調整前当期純利益 | 40 | 588 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 24 | 46 |
| 法人税等調整額 | 35 | △160 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △18 | 701 |

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで) | 当期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで) |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,000 | △349 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 280 | 123 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 428 | 841 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,292 | 623 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,375 | 2,083 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,083 | 2,706 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中期経営計画について

▶ 2030年度のあるべき姿

『生き生きと水産物の価値をお客様に提供し続ける企業』

これは、卸売市場の強みを発揮し、水産物卸として様々なお客様の要望に応え、水産物の価値をお届けしていること、また従業員一人一人が挑戦的・主体的に生き生きと仕事に取り組んでいる状態を表しています。

▶ 中期経営計画（2023年度－2025年度）

2030年度のあるべき姿を基に、実現のための4つのポイントと2025年度の数値目標を決めました。

1

関西で確固たる基盤を有し世界の水産市場をターゲットに販売していく

- ・社内組織の連携を図り、顧客視点で原料（産地）、加工、顧客を最適につなぐ仕組みを多くつくる
- ・海外販売取引の拡充を図る

2

収益力を高めて、質の向上を図る

- ・生産性を高めローコストで運営できる業務体制（業務変革と個人の能力の向上）にする

3

より挑戦的・主体的に取り組む組織風土のもと、より働き甲斐のある企業を目指す

- ・新しい人事賃金制度の運用と定着を行う

4

ステークホルダーから信頼される企業を目指す

- ・コンプライアンス・ガバナンス体制の強化を継続する
- ・環境や安全・安心への取り組みを行い、広報・社会貢献活動を充実させる

■ 2025年度 数値目標（連結ベース）

売上高

1,040億円

営業利益

690百万円

経常利益

790百万円

※本資料の業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成されています。様々な不確実性、潜在リスク、自然環境変化等の要因の変化により、予想とは大きく乖離する可能性を含んでいますことをご了解ください。

環境・社会への取り組み

当社グループは、水産物等の天然資源を取り扱う事業を営んでいることから、生態系保全をはじめとした環境・社会への取り組みを実施していくことが重要な責務であると認識しております。当社グループの環境・社会への取り組みの一部をSDGsと関連

付けながらご紹介いたします。今後も「大水グループは、自然の恵みに感謝し、古（いにしえ）からの食文化を守り、新たな食の創造に挑戦していきます」という企業理念のもと、サステナビリティを意識した企業経営に努めてまいります。

●「さかなの日」に賛同



水産物の消費拡大に向けた取り組みを官民協働で推進するため、「さかな×サステナ」をコンセプトに水産庁が制定した毎月3日から7日までの「さかなの日」に賛同し、賛同メンバーとなりました。「さかなの日」に関連する取り組みとしては、毎月3日から7日までの間に当社ウェブサイトにも魚を使ったレシピを掲載しています。また、レシピを一層活用いただくための特設サイト「お魚ポータル」を開設しました。レシピを魚種・食材・季節・料理ジャンル・調理方法などで分類しており、レシピを見つけやすくなっています。同サイトは、「さかなの日」の公式サイトにも掲載されています。



●「こども図書館」への絵本の寄贈



大阪府吹田市の阪急オアシス吹田SST店様にある「こども図書館」へ絵本を寄贈しました。阪急オアシス吹田SST店様は、「食と健康を軸とした多世代共生」をテーマとするショッピングセンター「オアシスタウン吹田SST」のキーテナントとして、2022年4月29日に新規オープンしました。店舗内の一面にある「こども図書館」には、食のことを楽しく学べる本を中心に約2,600冊の本が所蔵されています。当社はこの「こども図書館」に対して、0～3歳児向け絵本200冊を寄贈しました。



SDGs（持続可能な開発目標）とは、国連サミットで採択された2030年までに達成を目指す国際目標のことです。飢餓、環境破壊などの課題について、17の目標と169のターゲットから構成されています。

会社情報・株式情報

▶ 会社概要

(2023年3月31日現在)

| | |
|------|--|
| 会社名 | 株式会社 大水 (DAISUI CO.,LTD.) |
| 事業内容 | 生鮮、冷凍、加工水産物の卸売事業 |
| 設立 | 1939年4月7日 |
| 資本金 | 100百万円 |
| 従業員 | 連結435名 単体330名 |
| 事業所 | 本社・大阪本場支社、東部支社、 北部支社、京都支社、神戸支社、 神戸東部支社 |

▶ 取締役及び監査役

(2023年6月23日現在)

| | |
|--------------|-------|
| 代表取締役社長執行役員 | 山橋英一郎 |
| 取締役常務執行役員 | 湯上信元 |
| 取締役常務執行役員 | 児島實 |
| 取締役常務執行役員 | 片野博雄 |
| 取締役(社外取締役) | 松葉知幸 |
| 取締役(社外取締役) | 三谷拓己 |
| 常勤監査役(社外監査役) | 齋藤守 |
| 監査役(社外監査役) | 百々季仁 |
| 監査役(社外監査役) | 田中豊 |

▶ 株式の状況

(2023年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 47,800,000株 |
| 発行済株式の総数 | 13,774,819株 |
| 株主数 | 3,463名 |
| 単元株式数 | 100株 |

▶ 大株主の状況

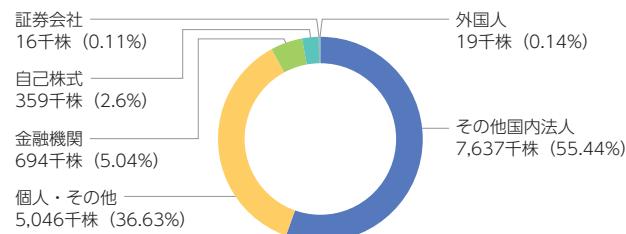
(2023年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------|---------|---------|
| 株式会社 ニ ッ ス イ | 4,303 | 32.07 |
| 株式会社 極 洋 | 1,180 | 8.79 |
| 農 林 中 央 金 庫 | 694 | 5.17 |
| 大 水 従 業 員 持 株 会 | 496 | 3.69 |
| 二 チ モ ウ 株 式 会 社 | 450 | 3.35 |
| 中 部 水 産 株 式 会 社 | 259 | 1.93 |
| 寶 船 冷 蔵 株 式 会 社 | 225 | 1.68 |
| 利 州 株 式 会 社 | 215 | 1.60 |
| 大 起 産 業 株 式 会 社 | 196 | 1.46 |
| 水 野 直 明 | 160 | 1.19 |

- (注) 1. 当社は、自己株式を上位10位以内に該当する359,237株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
4. 日本水産株式会社は、2022年12月1日付で株式会社ニッスイに社名変更しております。

▶ 所有者別株式分布状況

(2023年3月31日現在)



- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

▶株主メモ

| | | |
|---------|---|---------|
| 上場市場 | 東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード7538) | |
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | |
| 定時株主総会 | 毎年6月 | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当※実施する場合 | 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 | |
| 同事務取扱場所 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 | |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 | |
| 電話照会先 | 0120-782-031 (フリーダイヤル) | |
| 公告方法 | 電子公告 (https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7538/7538.html) やむを得ない事由により、電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 | |

▶株式に関するお問い合わせ先

| 内容 | お問い合わせ先 |
|------------------|---|
| 単元未満株式の買増、買取のご請求 | 株主様の口座のある証券会社 * 口座をお持ちでない株主様（特別口座の株主様）は下記の三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。 |
| 届出住所のご変更 | |
| 郵便物の発送に関するご照会 | 三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031 |
| 株式に関するその他のお問い合わせ | ※受付時間は9時～17時 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く) |

▶単元未満株式の買増、買取請求のお手続きについて

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式については市場で売買できませんが、当社に対して100株となるように買増請求（購入）することができます。また単元未満株式を当社に対して買取請求（売却）することもできます。お手続きの方法等のお問い合わせは、上記お問い合わせ先にお申し出ください。

▶株式等に関するマイナンバーお届出のお願い

株式等に関する税務関係のお手続きに関して、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主様におかれましては、口座をお持ちの証券会社へマイナンバーのお届出をお願いします。

表紙の水産物のご紹介

1段目：スダレガイ 2段目：キビナゴ 3段目：カツオ
4段目左：ホッケ 4段目右：サザエ



〒553-8550

大阪市福島区野田一丁目1番86号 大阪市中央卸売市場内

代表電話：06-6469-3000 URL：<https://www.daisui.co.jp>

